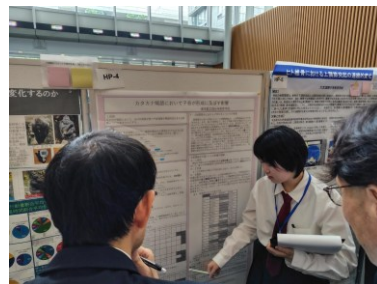




《アトリーチ》第42回日本霊長類学会・第80回日本人類学会・第88回日本生理人類学会連合大会で大会長研究奨励賞を受賞しました

9月12日（土）、東京大学駒場キャンパスで開催された、第42回日本霊長類学会・第80回日本人類学会・第88回日本生理人類学会連合大会の高校生ポスターセッションに参加しました。レベルの高い研究発表が並ぶ中、本校生徒が大会長研究奨励賞を受賞しました。



ポスター発表

発表テーマ：「カタカナの略語における子音の発音的關係」

《発表生徒の感想》

セッションでは、励ましのお言葉や厳しいご意見など、さまざまな声をいただきました。どの意見も今後の研究につながる貴重なもので、研究者の先生方との本気の議論も大きな学びになりました。最後には大会長研究奨励賞をいただき、とても有意義な時間となりました。

《巡検》近隣の研究所を見学しました

10月1日（木）、国立天文台と情報通信研究機構を見学しました。

国立天文台では、第一赤道儀室で実際に使われていた望遠鏡を見たり、電気を使わずに動く観測ドームを体験したりしました。また、太陽系ウォークや展示室も見学しました。

情報通信研究機構では、日本標準時を決める仕組みや装置のほか、手を触れずに操作できる装置や、立つ場所によって聞こえる言語が変わる翻訳機などを体験しました。先人の知恵と先端科学技術の両方に触れる1日となりました。



国立天文台での集合写真



国立天文台での見学風景

《参加生徒の感想（抜粋）》

- ・ 以前から気になっていた2か所を訪れ、様々なことを実際に体験しながら学ぶことができました。現地でしか得られない経験が多く、とても良い学びになりました。
- ・ 想像以上に技術が進歩していて、原理をすぐには理解できないものもありました。もっと勉強したいと思いました。



情報通信研究機構での集合写真



外部で発表する機会はこれから増えていきます。ぜひチャレンジしてみよう！



B越境 → 探究や学習活動の過程を振り返って、自身の思考や方法を調整・修正・改善することができる！

I統合 → 異なる領域の知識や視点を関連づけ、論理的・創造的に組み合わせ考察し、より深い理解や新たな見方を見出すことができる！

探究的な眼 → 自分の住んでいる地域といま学校で学んでいることはどうつながっているかな？